

平成 30 年度 出前懇談会 会議録			
地区	光岡地区		市長・副市長の出席 市長
日時	平成 30 年 11 月 1 日 (木) 19:00～20:40		場所 光岡公民館 集会室
地区参加者	高瀬 新治町自治会長 (地区理事)、栗山 日ノ出町自治会長、 行村 吹上町自治会長、樋口 玉川町自治会長、 梶原 玉川 3 自治会長、木下 南友田町自治会長、 木藪 北友田 1 自治会長、池永 北友田 2 自治会長、 吉富 北友田 3 自治会長		計 38 名
担当グループ	リーダー	江藤 上下水道局長	副リーダー 河野 総務課長
	プレゼンテーター	河野 総務課長	連絡調整担当 中嶋 ひた暮らし推進室長
	書記	岩尾 監査委員事務局長、江田 教育総務課長、早川 あまがせ保育園長	
	構成員	佐々木 市民課長 (司会進行)、石橋 観光課長	
	その他		
議題	テ ー マ		説 明 者
	1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～		河野 総務課長
	2. 「土砂災害警戒区域」とは、		河野 総務課長

1. 「防災・減災の取組」～それぞれの取組～

2. 「土砂災害警戒区域」とは、

(意見)

- ・ 上下水道局長にお尋ねしたい。三和地区の竜体山にかかる雨水対策として分水路を造る計画があると聞いている。詳細を聞きたい。上流である三和地区の水が日ノ出・清岸寺・吹上・北友田と流れてくるのでお聞きしたい。

(回答)

- ・ 国道 2 1 2 号の改修に合わせて行う予定である。流量は現在と変わらないと考えている。工期等の詳細なものは手元に資料がないのでわからないが計画をしている。

(意見)

- ・流量は変わらないということだが、そこに懸念がある。財津町で水があふれるということで、分水路を作るということは理解できるが、現在の排水路の能力をどれくらい超えると想定しているのか。

(回答)

- ・手元に資料がないので、詳細な説明を行うことができないが、最終的な流量は変わらないと聞いている。

(意見)

- ・これまで田等にあふれていた水が、分水路を作ることによって集中して渡里川に流れ込み、下流に流れることになる。上流のことばかり考えているが下流のことは考えているのか。納得できる説明をお願いしたい。

(回答)

- ・田等にあふれていた水が分水することにより一挙に渡里川に流れ込むという懸念はよくわかる。最終的な流量は変わらないという説明は聞いているが、懸念されている状況については確認し、説明をさせていただく。

(意見)

- ・花月川の改修で流量が増えたことにより、分水路の水量が変わるということか。

(回答)

- ・先ほどの分水路の話は花月川には行っていない。渡里川に行くということで、その流れ込む水の速さについてはもう一度確認させていただく。

(意見)

- ・北友田3丁目は4つの川が合流するところ。三隈川が筑後川に変わるところに土砂がたまっている。排水ができなくなる。

(回答)

- ・まず先の三和の分水路の話だが、県に渡里川の流量の増加と渡里川が花月川に出て来るところの河川改修を要望している。

- ・花月川が最後に出てくる小谷口のところの広いところで、蛇行しているところの流れについて国交省にお願いをしている。国交省の計算では大丈夫ということだが見ていると実際はいっぱいである。これは要望し続けるしかない。

- ・抜本的な問題もある。先の久留米市の水害も筑後川自体が水を引けない状況が出てきている。

(意見)

- ・筑後川の流れをよくしないと花月川の改修をしても根本的な解決にならない。

- ・花月川に流れ込む小さな川の水が流れなくて北友田、南友田の家屋が浸水した。筑後川の流れを良くしないと同じことが起きる。

- ・津江や玖珠のほうで大雨になり、さらにH29のような雨が市の北部で同時に起こった時が心配。ぜひ市長から県や国交省に要請してほしい。

(回答)

- ・上流域に貯水エリアを設けることを検討する必要がある。雨水の流れのタイムラグを作る。玖珠川についても心配はある。ダムなどを作る場合は地域の住民の皆さんの理解が必要となる。

(意見)

- ・H29豪雨は7月5日の何時に危ないとわかったか。

(回答)

- ・大雨洪水警報の予告が昼頃、午後には災害対策本部を立ち上げた。

(意見)

- ・午後5時30分に国道212号の夜明ダム付近を通った。ダムは満水状態だった。大雨の中ダムがこんなに満水なのはおかしいと思った。なぜダムを開けなかったのか。

- ・ダムが壊れていたということだが、出水期の前にテストを行うべき。九電や国交省に要請すべきだ。

- ・ダムの右側に放水路を作るべきだ。

(回答)

- ・現在は修理が終わり稼働するようになっている。

- ・放水路の件は下流との関係もある。夜明ダムも老朽化しているので改築の必要性についての話もしている。

(意見)

- ・下笠ダム、松原ダムも古くなっている。どのような災害があるかわからない状況なので両ダムが壊れた時のシミュレーションを行い、住民への周知、避難訓練等も行うべきではないか。

(回答)

- ・両ダムは満水になっても壊れることはない。ある程度の衝撃にも耐えられると聞いている。壊れた時に隈裏まで来るのに約40分、市街地全域が2m浸水する。
- ・ダムが壊れるという前提での避難訓練は考えていない。ダムが壊れる状況の時は、その前段で避難指示や避難勧告を行うこととなる。

(意見)

- ・国交省との話し合いでも話が出たが、水門の管理を委託している人への開閉の判断の指示はどうしているか。

(回答)

- ・水門の管理については、国の管理分を含めて、100か所以上あるので個人に委託をしているが、梅雨に入る前に説明会を行っている。市の職員も雨が降った時は職員がパトロールを行っている。
- ・受託者の高齢化が問題となっている。

(意見)

- ・南友田での水門の開閉のタイミングを間違えて被害が出たとの話を聞いた。
- ・水門を閉める判断は最終的には誰がしているのか。

(回答)

- ・毎年委託をした方に説明会を行っており、その際に徹底していきたい。土地改良区が管理している水門もあるので土地改良区にもこの話は伝えたい。

(意見)

- ・水門の開閉の確認について、大雨の時など緊急な水門の開閉が必要な時などは、開閉したかの確認をすべきだ。

(回答)

- ・説明会時に開閉作業の確認について必要があれば、検討していきたい。

(意見)

- ・水害のことはとりくんでいきます。
- ・地震の話がない。日田市に震度7以上の地震が来た場合の取り組みなど、地震のことについて取り上げてもらいたい。

(回答)

- ・目の前にある水害の取組が重点となっているのは事実だ。
- ・地震については日田市の最大震度予想は5強程度だと聞いている。
- ・熊本地震では五馬台地で、水の濁りが2～3カ月続いた。
- ・地震も怖いより怖いのは台風だ。50m、60mの風速のものが来る恐れがある。台風は進路の予想がある程度できるので、事前に情報を伝えていきたい。

(意見)

- ・北友田1丁目の住民だが、H24の災害のあと花月川の改修が進み、地権者として協力もしてきた。H29の災害では雨量が1.5倍から2.0倍になっている。花月川の改修により、雨量が増えても水位はH24のときとそう変わらなかったが、国道386号の星隈公園のところで狭くなっているところは水が入った。光岡橋のところは掘り下げていたので新治町などは助かったと思う。ただ国道386号に架かる橋のところは狭くなっている所以改良をお願いしたい。

(回答)

- ・以前から国交省にお願いをしているところである。なかなか進まないの、できるところからしてもらおうようにも要望している。
- ・一新橋と御幸橋もボトルネックになっている所も流速を遅らせるための対策工事を進めるために地元の方々と協議していると聞いている。少しずつしか改良はできない。
- ・三郎丸のところも本川に出ていくときに水を引くことができないので、少しでも水を引くことができる工法があると聞いているので、そこもお願いしているところである。

「土砂災害警戒区域とは」

(意見)

- ・市から配布されたハザードマップで光岡地区が危険個所の多い状況だった。マップを配布した後のフォローについて伺いたい。

(回答)

- ・光岡地区は築堤等があって内水が出ていきにくい状況になっている。
- ・主な場所においてポンプで排水するための釜（集水柵）を掘ったりしているが、河川の本流がハイウォーターになると排水は難しいので、上流での湛水や貯水する考えの施設を作ってもらふ必要がある。

(意見)

- ・光岡橋のところで河川工事をしている。小さな水路がある。そこに河川からの逆流を防ぐために水門を作ることになっている。そうすると今年の久留米市のように内水による浸水が起こる。内水問題についてもっと真剣に考えてもらいたい。

(回答)

- ・内水は大きな問題と考えている。実際には国交省の定めを超えて排水をしている。抜本的に河川本流の流れをよくしてもらふ、上流で水をためてもらふなどの対策が必要と思う。

(意見)

- ・ハザードマップの指定の周知、自治会との協議等を行ってきたか。

(回答)

- ・各戸配布したハザードマップは内水によるもので、河川がハイウォーターで排水できず、さらに時間雨量100mm程度の雨が降った想定であり、専門家の方々と協議して作ったもの。
- ・目的は自分の住んでいる地区の状況を理解して、災害の時に自らの命を守る行動をしてもらうことを考えてもらうため。
- ・ハザードマップは他に土砂災害と洪水のものが全部で3種類。土砂災害ハザードマップは現在作成中、洪水ハザードマップは防災危機管理課で予算措置を行いながら作成を図る。

(意見)

- ・ハザードマップで指定したら、指定の理由や対策について地域の人に丁寧な説明をしてほしい。

(回答)

- ・ハザードマップがそろった段階で話をしていきたい。

(その他の事項についての意見等)

○小学生のランドセルについて

(意見)

- ・小学生の荷物が多くてランドセルが重すぎると話題になっているが、週末の帰宅時に給食の袋を持って帰ることがある。ランドセルの端に掛けているが、低学年の児童には紐が長すぎて引きずるようになっている。担任の先生が気を付けて紐を短く結ぶように配慮してもらえないか。

(回答)

- ・学校教育の担当課に伝えておきます。